

～コロナ共生時代のデザインアプローチによる 開発途上国での医療機器開発の展望～

令和2年度

開発途上国・新興国等における医療技術等
実用化研究事業成果報告会

AMEDでは「開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業」を通じて、開発途上国・新興国等の臨床現場ニーズに基づいた医療機器開発を行うため、デザインアプローチを用いた研究開発支援を行っております。

本事業の令和2年度課題の成果について、国内医療機器メーカーやアカデミアの方々等にご紹介し、今後の医療機器開発に役立てて頂くため、成果報告会を開催致します。多数の方の参加をお待ちしております。

日時 2021年3月15日（月） 15:00～17:00

会場 オンライン開催

定員数 200名（事前申し込み先着順）

参加費 無料

プログラム

開会挨拶

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

来賓挨拶

厚生労働省

事業説明

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

特別講演 「コロナ共生時代のデザインアプローチを用いた新たな現地ニーズ把握手法」

マッキンゼー・アンド・カンパニー・インコーポレイテッド・ジャパン
シニアデザインエキスパート

成果発表とディスカッション 「コロナ禍での医療機器開発の“挑戦”と“機会”」

事業採択課題 発表者

プログラムオフィサー 東北大学病院 特任教授

中川 敦寛

厚生労働省 医政局総務課 医療国際展開推進室 室長

鈴木 貴士

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 医療機器・ヘルスケア事業部 部長

竹上 嗣郎

閉会挨拶

プログラムスーパーバイザー 大分大学学長

北野 正剛

※構成、内容につきましては今後変更される可能性があります。

【参加登録方法】

『開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業』成果報告会

下記ホームページの申し込みフォームよりお申し込みください。

https://www.amed.go.jp/news/event/20210315_shinko-kiki_00004.html

【お問い合わせ】

医療機器・ヘルスケア事業部 医療機器研究開発課

開発途上国・新興国等事業担当

電話：03-6870-2213 E-Mail：shinko-kiki@amed.go.jp



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development